民報
あばしり
NO.1308
3月14日号
発行所
日本共産党
網走市委員会
網走市北八西三
TEL 四三－四四五八
F 四三－四四五七

学校給食の集約化　1億1750万円

本当に必要？　十分な議論を！

文教民生委員会が3月5日に開かれ、「学校給食を民間委託しないよう求める請願」（会計年度任用職員35名と保護者16名の署名あり）について、審査されました。

請願内容には「市は「給食調理員の確保が極めて困難なので民間委託する理由だが、職場環境や家庭環境の問題で退職はあるが、その都度十分な人員は確保してきた。離職を防ぐ環境整備で課題は解決できる」としています。

古田委員は「安定した給食が供給できるように」として不採択としました。

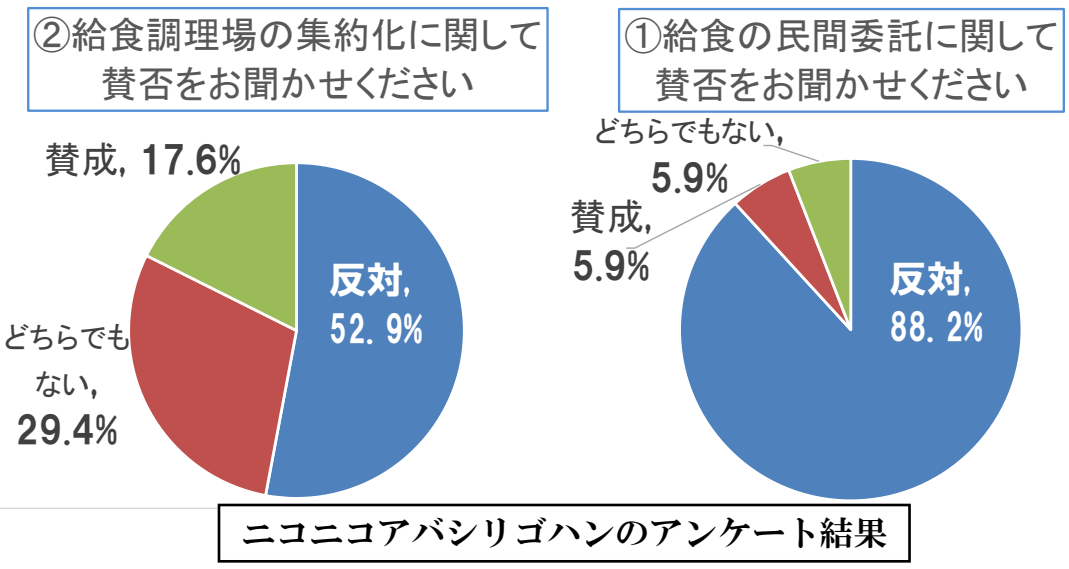
村椿委員は、この間の退職者数を確認（4年間で35人）し、請願のとおりだとして、採択すべきとしました。金兵委員、平賀委員も採択すべきと述べ、意見の一致が見られなかったことから、継続審査となりました。

各委員の意見

金兵委員	採択
近藤委員	不採択
平賀委員	採択
古田委員	不採択
村椿委員	採択

また、集約化の見直しを求める請願が2件出されましたが、本議会の令和3年度予算案に集約化の予算が盛り込まれていることから、委員会では審査しないこととなりました。

予算審査等特別委員会（16日）で、しっかりと議論する必要があります。



ニコニコアバシリゴハンのアンケート結果

市民の声を　9割が委託に反対

学校給食を考える団体「ニコニコアバシリゴハン」が網走市内全戸に広告を配布し、アンケート調査をした結果（上記）、9割が委託に反対でした。「給食の質が下がる」「市外の業者に流れ、市の活性化にならない」「人員不足の理由は納得できない」などの理由でした。

集約化については5割が反対でした。「出来たての給食を食べてほしい」「地元の食材を生かした給食（白鳥台）をなくさないで」などの理由でした。市民の声が届く市政にしなければなりません。

松浦さとし奮戦メモ

3月議会は、会派1名による代表質問を行なうことになっています。今年は7年ぶりに私が行うことになり、大項目で13項目になりますが、できるだけコンパクトに仕上げたつもりです。しかし、落ち着いて読み返してみると、あれも入れれば良かったとか思うところが幾つもありますが、その分は予算審査の中で聞くことにしたいと思っています。私の質問は10日で最後の順番です。

11日から連日予算等審査特別委員会の質問があります。その準備もしなければならないので、3月議会は大変なのです。それでも今年は、土、日が間にあるので後半の質問の準備ができるので、少し精神的には楽ですね。17日の特別会計、企業会計の審査で事実上終了となり、翌18日は特別委員会としての取りまとめで、議員、会派から賛否を表明することになります。

22日が本会議で予算等審査特別委員会の審査報告があり、反対、賛成の討論を行って採決を取ることになります。最後まで、市民の目線で頑張ります。

村ちゃんが駆ける

市の行革により民間委託が数多く行われてきました。ゴミ収集と処理、除雪、道路維持管理、保育園、体育施設など、市内業者に委託されています。500人以上の正職員が350人となり、非正規職員が増えて市の借金は減りました。しかし、市民からの要望も業者に依頼しなければ出来ないなど、融通がきかなくて職員の負担は増し、仕事の継承も危ぶまれていると思います。

学校給食の民間委託は過去に実績のある業者からのプロポーザル方式で選定するといいます。給食調理が市外の業者が請け負いかねません。現在より多くの経費がかかってしまい、まだまだ議論が必要です。

「第1回　学校給食を考える懇話会」が2月に行われ、農業者や漁業者も参加、地元の食材の利用やオーガニック給食の話も出たと言います。素晴らしい可能性に満ちた学校給食を続けられるように、頑張ります。

流氷

今年に入って身近な人を二人亡くしました。一人は同じ職場の、前日には一緒にお昼を食べた人だったのに、あまりにも急なことでした。就寝中の突然死とのこと。信じられない。何かの間違いであって、と。仕事仲間の私たちでそうなのだから、残されたご家族の悲しみはいかばかりかと…。▼もう一人は近くに住む叔母の連れ合いで、こちらは去年から年は越せないかも、と言われていたので、少しは心の準備ができていました。久しぶりに集う親戚、知人。式では叔父の好きだった曲がBGMで流れ、棺には孫たちからの寄せ書きやパークゴルフ好きの叔父へ白木のクラブもいれました。隣に座っていた息子は、父親に「何の曲流してほしい？」「一緒に入れてほしいものは？」と。え、今から？と思いながらも自分はどうだろうと考えてもみました。▼今回のことで、人はいつ、何がおこるかわからないんだ。という思いを強くしました。▼1日1日を大切に、誰もが安心して暮らせる世の中を目指して「黙っていないで、できることをしなくては」

柿ピー子